

13

「キャンパスまるごと博物館」で 数千万年の自然環境・歴史を学ぶ

広島大学総合博物館は開館20周年を迎えます。博物館では、本館を中心に豊かな自然環境や遺跡を含み込んだ「キャンパスまるごと博物館」として活動を展開しています。本講座では、キャンパスの地質、その上に育まれた自然環境、ここで営まれた人間活動（遺跡）について、数千万年のスケールで現在の東広島キャンパスの特徴を分かりやすく解説します。広大な東広島キャンパスを散策し、遺構を復元した遺跡の見学、地層の観察や植物の紹介を通して、自然と歴史、またそのつながりを学びます。また、リニューアルした博物館本館の展示を見学し、広島大学の近年の研究や新しい標本など、特徴的な展示を解説します。

会 場	広島大学東広島キャンパス 教育学部 K棟1階 104教室 (注意) 会場は変更の可能性があります。
	対 面 : 受講許可のお知らせをする際に、改めて最終的な会場をお知らせします。
	ワラワ : -
時 間	①13:00~13:45 ②13:50~14:35 ③14:40~15:25 ④15:35~16:35 ⑤16:45~17:15
定 員	対 面 : 60 名 ワラワ : - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 : 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 1/20 (水) (必着) まで先着順で受付

東広島キャンパスの遺跡

講 師 : 総合博物館 研究員 石丸 恵利子

第1回

1/30 (土)

①13:00~13:45

東広島キャンパスでは約40ヶ所の遺跡が発見されています。旧石器時代から近世までの各時代の遺跡が存在することから、連続して人々が住み続けてきた地域であることが分かります。これらキャンパスの遺跡の特徴や調査成果から、当時の暮らしや文化について学んでもらえればと思います。

東広島キャンパスの地質**講師：総合博物館 学芸職員 黒島 健介****第2回****1/30 (土)****②13:50~14:35**

自然豊かな東広島キャンパスには、自然の岩肌が露出している場所（露头）がいくつかあります。数千万年の時を刻む「花崗岩」に数十万年前の水場で形成された地層である「西条層」。それらを観察しながら、大きさのみならず時間的にも壮大なスケールの東広島キャンパスを紹介します。

東広島キャンパスの自然**講師：東広島植物園 技術主任 塩路 恒生****第3回****1/30 (土)****③14:40~15:25**

東広島キャンパスには、昔ながらの里山環境が残されています。里山は、人が長年利用し干渉することで形成されてきたものです。そして、そこでは人の生活と関わりのある植物が多く見られます。キャンパスの自然を紹介しながら、私たちの暮らしとのつながりや植物の楽しみ方について学びます。

東広島キャンパスの遺跡・地質・自然を巡る**総合博物館 学芸職員 黒島健介****講師：東広島植物園 技術主任 塩路恒生****総合博物館 研究員 石丸恵利子****第4回****1/30 (土)****④15:35~16:35**

東広島キャンパスには、屋外にたくさんの見どころがあります。第1回から第3回で学んだ内容について、実際に現地で実物を見ながら解説します。遺跡に復元された住居跡から分かる歴史や文化、キャンパスの地質の特徴、植物から分かる自然環境を体験的に学びます。

本館展示リニューアル！展示物で学ぶ**講師：総合博物館 学芸職員 黒島 健介****第5回****1/30 (土)****⑤16:45~17:15**

総合博物館本館は開館20周年を迎え、展示の一部をリニューアルしました。広島大学の最近の研究に関わる内容を増やすとともに、展示標本数もこれまでより増やしています。展示台や水槽なども含め、装いを新たにした博物館で、特徴的な展示を解説します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

総合博物館 石丸 恵利子

電話： 082-424-6198

メール： ishimaru@hiroshima-u.ac.jp